

大町病院サポーターの会会報

No85

2021年9月発行

大町病院サポーターの会

発行責任者降旗剛

会員・職員、早朝草取りに90人余 病院労組からお茶の差し入れ



8月8日（日）早朝6時30分より涼しい中で「コロナはじめ病気に対応してくれた病院と職員に感謝」の気持ちを込め大町病院周辺花壇の草取りを行いました。

会員、職員90人余りが参加し、玄関西、正面ロータリー、桜の木の下、南棟北側、西側、正門横から道路沿いなど広い花壇のほか、駐車場アスファルトの継ぎ目など丁寧に草取りと草刈りを行いました。子供さんも10人ほどがお父さんやお母さんに連れられて汗を流し手伝ってくれました。

花壇の設置プランを立てて7.8年前に植えたリナリア、紫蘭、紫仙台萩、ジャーマンアイリス、ペチュニアなどの花を説明し、草との区別をしながら作業を開始しました。青木俊樹、高木哲副院長、太田久彦先生も参加してくださいました。

作業の終了後は参加者全員で記念写真を取りました。

全員が清々しい笑みを浮かべていました。会長のお礼の挨拶の後、病院職員労働組合から差し入れていただいたお茶と駄菓子が振る舞われ散会しました。

参加者は、鷺澤徳司 高木 哲 青木俊樹 太田久彦 藤澤祐子 池田溪子 安達聖人 山口悦子
降旗いづみ 降旗菜穂子 木村 円 小林由美枝 上村美智子 原山奈々 井上忍 長澤奈美
田中知子 山崎由香 斎藤絹代 曾根原理沙 太田賢吾 吉田由美子 磯貝貴弘 吉村奈々恵
浅田めぐ美 佐藤友里 園田めぐみ 田中愛美 栗林美紀 今井志保 井出好美 曾根原富美恵
平林ひろい 尾崎佐智子 金原美和子 鷺澤明美 山岸佳美 清水あさひ 川上晴夫 西澤喜吉
遠山千秋 西澤良忠 稲目美穂 西澤秀一 続麻申子 相澤陽介 井澤純子 奥原喜義 中村薫
倉科杏子 坂井征洋 高森秀子 鳥羽嘉明 中原こず恵 西澤静香/隼太 西山雄基 深谷明弘
堀田将輝 堀田明恵/一花 牧瀬明美 宮田亜沙美 本山朋子 関根貴子 清水香代子 武井晴明
武井康訓 西沢千文 山本真妃 西澤範子 西澤三千代 渡辺早よき 降旗剛 柳沢英幸 小浪和正
松下吉邦 北沢孝一 西牧俊郎 渋田見博 松澤絹枝 勝野礼二 大日向明 塩原義夫 若林茂男
赤羽健次 高橋博久のみなさんでした。(順不同・敬称略) 早朝よりありがとうございました。



ワクチン接種は順調、病院経営は健全に 医療関係者、職員に感謝、9月議会で市長

8月31日開会された9月定例会冒頭で牛越徹市長が挨拶し、病院関連について以下の通り述べました。要旨を掲載します。(大町市議会ホームページより)

市としては、同居家族や職場などでの感染や感染経路不明の事例が数多く確認されていることから、第18弾となる「市長メッセージ」を発売し、重症化リスクを高めるおそれのデルタ株の感染を防ぎ命と健康を守り、医療への負荷を抑えるため、若い世代ははじめ一人ひとりが、予防対策にいっそう取り組んでいただくようお願いしました。

ワクチン接種は、昨日時点で65歳以上の95.2%に当たる9,733人に予約申し込みをいただき、このうち、93.7%に当たる9,119人が2回目の接種を終了しています。64歳以下の予約は65.0%に当たる9,351人で、1回目の接種

者は8,861人、2回目の接種完了者は4,718人です。9月1日からは、医師会、歯科医師会及び、薬剤師会



のご協力により、1日当り最大750人に規模を拡大し実施しています。

全国的にワクチンの供給不足による接種の遅れが危惧されておりますが、本市においては、新たに対象に追加されました12歳から15歳までのお子様への接種を除き、概ね計画どおり、9月末までには希望される方全ての接種が完了できる見込みとなっております。

市立大町総合病院は、病院経営健全化計画に基づき、職員全員が積極的な経営改善に取り組んできました。



計画3年目となる令和2年度決算においては、計画に定めた施策として、病院規模の適正化に加え、機能評価係数の向上などの診療報酬の確保に継続的に取り組んできましたが、コロナ禍の影響による受診控えや定期受診の間隔延伸などにより、2年度の医業収益は2億3,000万円余の減収となりました。

一方で、医業外収益として、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業補助金による、コロナ患者の受入れに増床して対応した病床確保などに対する経費の補填などにより、病院事業収益は、前年度と比較して2億1,000万円余の増加となりました。

また、病院事業費用では、緊急的な措置として、全職員の協力を得る中、給与費の削減を計画に沿い継続したことに加え、あらゆる経費の縮減に努め、病院を挙げて経営改善を推進した結果、昨年度の経常損益は5億2,000万円余の利益を計上でき、資金不足も解消するに至りました。大町病院における新型コロナワクチンの集団接種については、平日午後のほぼ毎日、約140人の市民に接種を実施しており、現在は、高齢者向けの接種が終了し、一般向けの接種に移行しました。大町病院は、感染症指定医療機関としての使命に基づき、大北圏域を中心に県内の感染患者の受入れに加え、毎日数多くの市民へのワクチン接種や、発熱外来及び外来検査センターの運営に、熱意を持って取り組んでいただいております。藤本圭作病院事業管理者を中心とする医療スタッフの皆様をはじめ、病院全職員のご尽力に深く敬意と、心より感謝申し上げます。

免許皆伝：コロナ禍から コミュニティを守る達人になろう

家庭医 金子一明

新型コロナについて大町市 CATV（大町市ケーブルテレビ）で活躍いただいている大町病院金子一明先生にコロナ対応について執筆をお願いしました。皆さんに紹介します。

みなさん、お元気でしょうか。

新型コロナウイルス感染症が閑静なこの地域にも流行って心配だと思います。

今回は新型コロナウイルス感染症対策の私見を述べたいと思います。個人的な見解であり、私の所属機関とは一切関係ないことを最初に述べておきます。また、製薬会社等との利益相反はありません。

初級：

新型コロナワクチンを打つ

手の消毒を徹底し不織布マスクを付ける

換気を徹底。

自分と周囲を守るためにもワクチンは必須です。接種が始まって1年以上が過ぎていますが、大きな副作用は出ていません。ワクチンを打っていても感染することもあります。感染防御、重症化防御はわかっています。当地ではワクチンを打った高齢者の感染がほとんど皆無です。もしまだ打っていない方がいたら、必ず打ちましょう。まだ布マスク、ウレタンマスクをしている人がいますが、現在流行中のデルタ株は感

コロナ対応ももう1年を過ぎています。今後の見通しはあたらしい変異株やワクチンの抗体価の減少もあり、不透明です。もう少し対策をする必要があります。しかし、自分のことばかり守るのでなく地域、地域経済を守る、そんな個人のコロナ対策を初級者、中級者、達人に分けてお話したいと思います。

染力が高く、一人感染すると5人以上に感染を指せると言われており、水痘と同様の感染力があると考えられています。また以前の株より重症化する割合も多く防御が必要です。人前では必ず不織布マスクをしてください。また、これまで以上に小さな粒子による「エアロゾル感染」が増えています。15分に一回と言わず、人と人が会う場では常に換気を徹底しましょう。



中級

安全に個食で外食をする。

適切な時期に同じ圏域の人と適切にあう。

家に引きこもっていれば確かに感染リスクはゼロです。しかし、感染症が収束後に地域に外食する場所もみんなが集まる場所やサークルが皆無になってしまえば、地域の人の健康を守れません。外食は感染が落ち着いている時に換気や距離をとり個食であればリスクは少ないです。また、高齢者が外にでなくなることによる精神的な健康や体力の低下が問題になっており、不活化による病気になる危険性が高くなってい

達人：

オンラインで人と人をつなげる

安全に同居家族と外食や近場の旅行をする。

ここからは達人です。この1年でオンラインで人と会う機会も増えました。地域のコミュニティの繋がり、サークル、イベントなども感染拡大期も中止せず、オンラインでできるように組織できたらよいと思います。無料でインターネットに繋がるwifiスポットの拡充やオンライン会議システムのZOOMの地域講座などたくさんあればよいですね。個室で同居家族のみ



ます。感染が落ち着いたときに、外で、ワクチンを打った同士、不織布マスクをつけて会うのは感染リスクは少ないです。引きこもらないで適切に人と会いましょう。

での飲食であれば感染リスクはありません。もちろん、この条件なら飲酒があっても大丈夫です。地域の外食・旅行産業を守るために「同居家族で個室で外食」、感染が落ち着いている時に「近いところに安全な旅行」は進めてもらいたいと個人的に思います。ぜひ、コロナ対策の達人になって、自分と地域を守って欲しいと思います。

世界にはニュージーランドや台湾など「ゼロコロナ」を目指している国があります。反対にイギリスやアメリカなどある程度感染を許容しながら、なんとか医療の破綻を起こさない程度に



抑えようとしている国があります。日本はどちらでしょうか？緊急事態宣言を出しながらオリンピックを開催したり、なんだかどっちづかずの印象があります。首都圏、関西圏では自宅で療養中に搬送先が見つからなくなる方が相次ぎました。少なくとも「ゼロコロナ」ではなさそうです。個々人が節制をもちつつ、感染を避ける生活を続けつつも、少しずつ「with コロナ」（コロナとともに生きる日常）の新しい様式を手に入れる時期かと思います。

病院ガーデン部と

サポーターの会が初顔合わせ



8月8日の病院花壇の草取り作業が終わった後、ミニ菜園前で病院ガーデン部（代表とサポーターの会役員 20人が今後の花壇のあり方について話し合いを持つことになりました。入院患者にとってより快適な闘病生活を送るために病院環境を議論しながら職員とサポーターの会が協力し

あい作っていくことになりました。

今年からこのスペースの管理は病院ガーデン部が担当することになりました。そのためか野菜も元気に育っています。

とうもろこし 120本差し入れ

8月7日、八坂産のとうもろこし「ゴールド・ラッシュ」120本を医局と看護部などへ差し入れました。この日勤務にあっていた高木哲副院長に降旗 剛会長と高橋博久次長が医局を訪れお渡ししました。暑中見舞いとコロナ対応への感謝の気持ちの添え書きにして。



かぼちゃとナスを差し入れ



8月27日、夏野菜最後の差し入れとなる、かぼちゃ大、中、小 35個とナス1箱を、医局に差し入れました。

かぼちゃは数種類を植えたため、収穫時の大きさがまちまちで、坊ちゃんかぼちゃ中心に大きいのは30cm程度のものもあり、ナスも15cmを超える大物もありましたが、柔らかく艶も良いものでした。無農薬のため虫が食べたあとも残っているものもありました。味はわかりませんが料理人の腕次第ということにしておきます。(笑)



健康保険法改正 75 歳以上の負担は 2 割に

6月4日、国会本会議で健康保険法改正法案が野党の反対をおしきり強行採決されました。

75歳以上の高齢者は年金含めた年収が単身で200万円以上、夫婦世帯で合計320万円以上の人の窓口負担が来年度後半から2割になります。370万人が該当します。負担が2倍になれば受診を控える人が出てくる心配があります。

現役世代の負担減はわずか月30円です。現役世代で月30円安くなる事と75歳以上になって医療費が倍になることを比較すると後者の方がはるかに負担増です。高齢者になればなるほど、病気にかかりやすくなり、医療が必要になります。

年収200万円以上の要件も政省令によりさらに下がる可能性があり、この線引が妥当なものであるのか疑問が残ります。団塊の世代が来年から75歳になり始めることから、医療費抑制のために提案されたものではないかと言われています。人生の中で医療が必要な時に受けられなくなる懸念があります。



草とり作業道具購入、充実をはかる



サポーターの会は年3回行っている病院の花壇や周辺の草取りなど環境整備作業に必要な道具をそろえました。今年に入り5月と8月の作業には90人に上る参加者があり、草かきなどの道具が不足していました。そこで作業の安全と作業効率向上のため、草削り40本(写真)、ゴミかき4本、イシミ5個、草刈り鎌2本を購入し補強しました。これまでの道具に合わせ活用します。

これらの道具は院内に置かれているサポーターの会の倉庫に収納されています。今後10月の剪定作業用に剪定鋏を購入予定です。

妊婦のタクシー代、市が補助を開始

大町市は大町病院の産科が医師不足のため昨年11月から出産の受け入れを休止しています。市外の病院へ通わなければならなくなった、妊産婦の負担軽減のためタクシー乗車券3万2千円分を交付します。出産を扱う最短の安曇野市にある穂高病院までの片道8千円の4回分相当額となります。

お釣りは出ません。対象となる、8月以降に出産する70人のほか今後の出産を予定する人を80人と見込み150人分、合わせて480万円を決めました。乗車券が使えるのは市内のタクシー会社2社に限られます。分娩、定期通院、検診の際の利用に限られます。出産に関わる負担が軽減されます。

芸術の秋、外へ出て気分転換を

北アルプス国際芸術祭が10月2日(土)～11月21日(日)市内全域で開催されます。どんな作品が現れるか楽しみです。健康維持のために、家に閉じこもっていないでコロナ対策をして出かけましょう。

作品の前で作者は何を表そうとしたのか考えると面白いですよ。3者3様の見方ができます。

違っていいのです。正解は作者のみが知っています。下手に理解したなどといえれば作者はきっと「なんにも分かっていない」というでしょう。創造した作品にはそのくらい深い意味合いがあるのでしょうか。

北アルプス国際芸術祭にパートナーシップ事業として市内に所蔵されている絵画作品、制作している芸術家の作品を集め展示した「ベスト・セレクション in 信濃大町」展が市文化会館で開催されます。

「“山を想えば”」をテーマに大町市に関わる芸術家の絵画、彫刻、工芸作品を展示します。この運営企画、展示作品にはサポーターの会役員や会員が大勢関わっています。ぜひご覧ください。

会期は10月2日(土)～10月17日(日) 10時～17時 入場無料。

(休館日：月曜日及び祝日の翌日 ※土日祝日は開館)

差し入れ用の秋野菜は順調に生育中



病院医局へ差し入れ予定の秋野菜が順調に育っています。

写真は大根、白菜、キャベツ畑です。

お知らせ

花壇の草取りと庭木の剪定は10月3日(日)、午前9時からです(小雨決行)。作業時間は1時間程度です。

草取りの道具は新しく、たくさん揃えました。軍手はご用意ください。

今年の夏季バーベキュー交流会は中止とします。

会費納入者(順不同、敬称略 8月31日現在)ありがとうございました。

個人会費 吉岡寿美代 大日方三郎 仁科馨 松島吉子 西澤ひろみ 川上晴夫 黒岩良介
西牧俊郎 西牧登美子 平林信子

団体会費 (株)G.C.I